

令和5年度 決算説明資料

令和6年10月9日
観光文化交流局

目 次

	頁
1 地域日本語教育体制づくり推進事業……………	1
2 アーツカウンシル事業……………	2
3 歴史文化普及啓発事業……………	3
4 金シャチ横丁第二期整備博物館ゾーン整備基本構想の概要……………	4
5 金シャチ横丁第二期整備（芝居小屋風多目的施設の設計等）……………	5
6 名古屋城天守閣特別会計における支出……………	7
7 「名古屋城バリアフリーに関する市民討論会」における差別事案発生以降の 名古屋城木造天守復元事業に関する障害者団体等への対応に係る指示等…	8

1 地域日本語教育体制づくり推進事業

区 分	主な内容	実 績
地域日本語教育に係る総合調整会議の開催	地域日本語教育を推進するにあたり、学識経験者等の意見を聴取	2回
総括コーディネーター及び地域日本語教育コーディネーターの配置	各取り組み内容等へ助言を行うとともに教室の課題に応じた個別相談支援を行う 総括コーディネーター1人及び地域日本語教育コーディネーター4人を配置	コーディネーター会議の開催 (19回)
セミナー等の開催	地域日本語教育の普及啓発に関するセミナー等を開催	2回 参加者数45人
市内日本語教室検索サイト「なごにほ」の運営	日本語学習者や日本語ボランティア活動希望者への情報の提供 (日本語含め11言語で提供)	掲載数41教室
人材育成研修の開催	日本語ボランティアのためのステップアップ研修等の開催	3回 参加者数113人
インターンシップ生・学生ボランティアの派遣	名古屋市立大学をはじめとした5大学の学生を地域日本語教室へ派遣	11教室 派遣人数41人
ハイブリッド型地域日本語教室の実施	オンライン学習と対面交流を組み合わせた日本語教室を実施	全24コース (入門から初級レベル) 受講者数263人

2 アーツカウンシル事業

(単位：件)

区分	内 容	対 象	応募数	採択数
A	社会連携 (文化芸術分野から他分野との連携) ・上限1,000千円	アーティスト・文化芸術団体	33	3
B	社会連携 (観光・まちづくりの立場から文化芸術活動との連携) ・上限1,000千円	アーティスト・文化芸術団体以外の団体・事業者	9	1
C	キャリアアップ (作品記録集作成支援) ・上限300千円	・39歳以下のアーティスト ・39歳以下で構成される文化芸術団体	17	8
D	広報・情報発信 (文化芸術活動の効果的なデジタル情報発信) ・上限100千円	アーティスト・文化芸術団体	6	6
計			65	18

3 歴史文化普及啓発事業

(1) 趣旨

歴史的建造物や文化資産を活用して、名古屋独自の歴史や文化に根ざしたイベントを実施し、知られざる都市の魅力の再発見や情報発信を図る

(2) 概要

区 分	内 容
事 業 名	やっとかめ文化祭DOORS 2023
開催期間	令和5年10月28日(土)～11月19日(日)
総出演者数	747人
参加者数	58,435人

(3) 実施内容

区 分	内 容	特に力を入れた点
まちなか芸披露	まちなかや舞台での狂言・歌舞伎などの伝統芸能の公演	商店街や大学祭にて実施することで、普段伝統芸能などに触れることが少ない方への鑑賞機会の提供
まちなか寺子屋	名古屋独自の歴史や文化をテーマにした講座	市内の中学校、大学との連携による学生の事業参画
まち歩きなごや	名古屋独自の歴史や文化をテーマにしたまち歩き	まちなか寺子屋と連動したまち歩き企画の実施など企画間の連携
なごや和菓子	「和菓子の原点に還って、名古屋の素朴な和菓子」をテーマにした和菓子の紹介	紹介店舗を増加させることによる周遊機会の増大
ODORI BA	ビルの屋上を活用した青空狂言やマーケットなどの開催	若年層をはじめ普段伝統芸能などに触れることが少ない新たな客層に向けた鑑賞・体験機会の提供

4 金シャチ横丁第二期整備博物館ゾーン整備基本構想の概要

(1) 事業の目的

- ・ 特別史跡名古屋城跡の本質的価値の理解促進と魅力発信及び後世への継承
- ・ 近世以降の名古屋の歴史や日本の歩みの理解促進
- ・ 日本の城郭の価値や魅力の発信
- ・ 名古屋観光の魅力向上

(2) 整備の内容

- ・ 名古屋城の収蔵品等を活用し、名古屋城の歴史や価値・魅力を伝えるとともに、日本の城郭の特徴を検証・紹介する、城に関する総合的な博物館（名古屋城博物館（仮称））を整備する
- ・ あわせて、名古屋城博物館（仮称）を核としながら、隣接する金シャチ横丁義直ゾーンも含め、尾張名古屋の歴史や文化、周辺とのつながりを学び、名古屋城の価値や魅力を再発見し、それをきっかけに名古屋城周辺及び市内に足をのばしてもらえる、エリア全体として「尾張名古屋の旅の基点」となるような観光強化機能をあわせ持ったエリア一帯（博物館ゾーン）の整備を行う

(3) 主な機能

- ・ 屋内展示、屋外展示、収蔵庫、調査研究等の博物館機能を有するほか、博物館ゾーンには、市内の歴史文化施設へ誘うための周遊拠点機能や観光誘客に資する機能を配置

(4) 博物館機能の概要

ア 展示内容

- ・ 歴史軸に沿って名古屋城史及び日本城郭史を学ぶ展示
- ・ 名古屋城の空間構成を理解できる展示

イ 展示手法

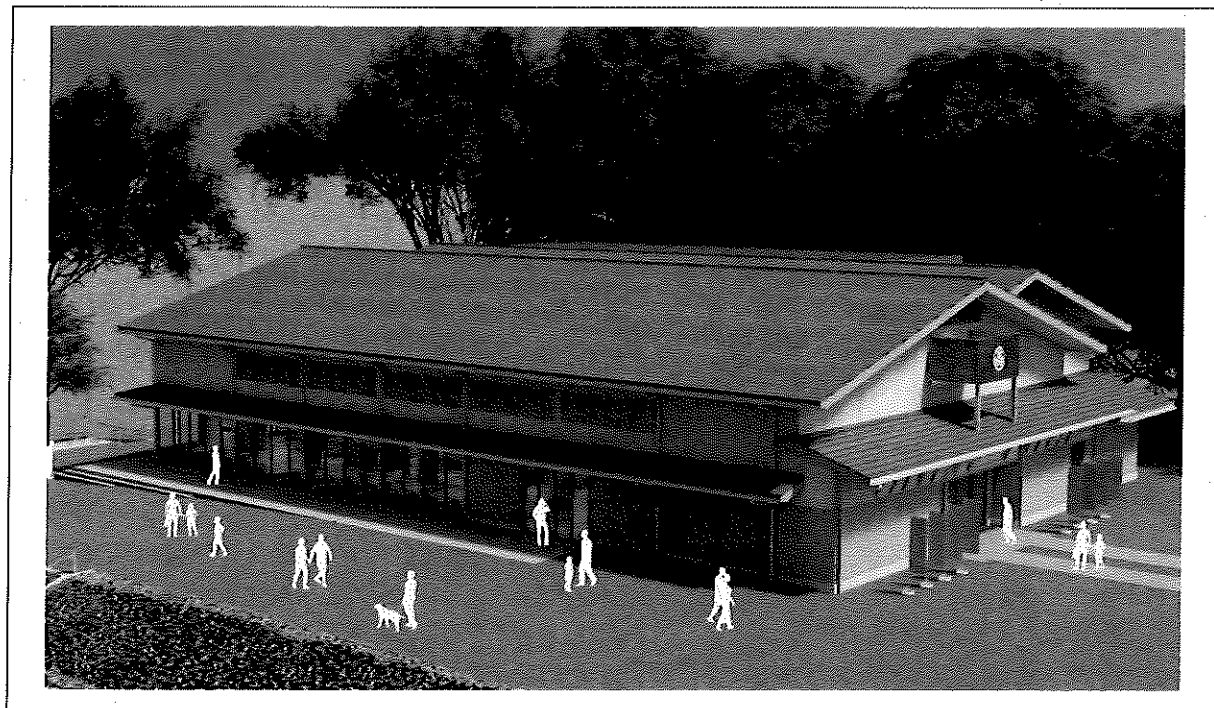
- ・ 名古屋城のガイダンス機能を備え、幅広い年齢層や外国人観光客にも満足してもらえるような常設展示や企画展示を実施する
- ・ 最新技術を活用することで、理解の補助を促す
- ・ 市民講座、体験活動等を通して、来場者の知的好奇心を満足させる活動を継続的に実施する

5 金シャチ横丁第二期整備（芝居小屋風多目的施設の設計等）

(1) 整備規模・機能等

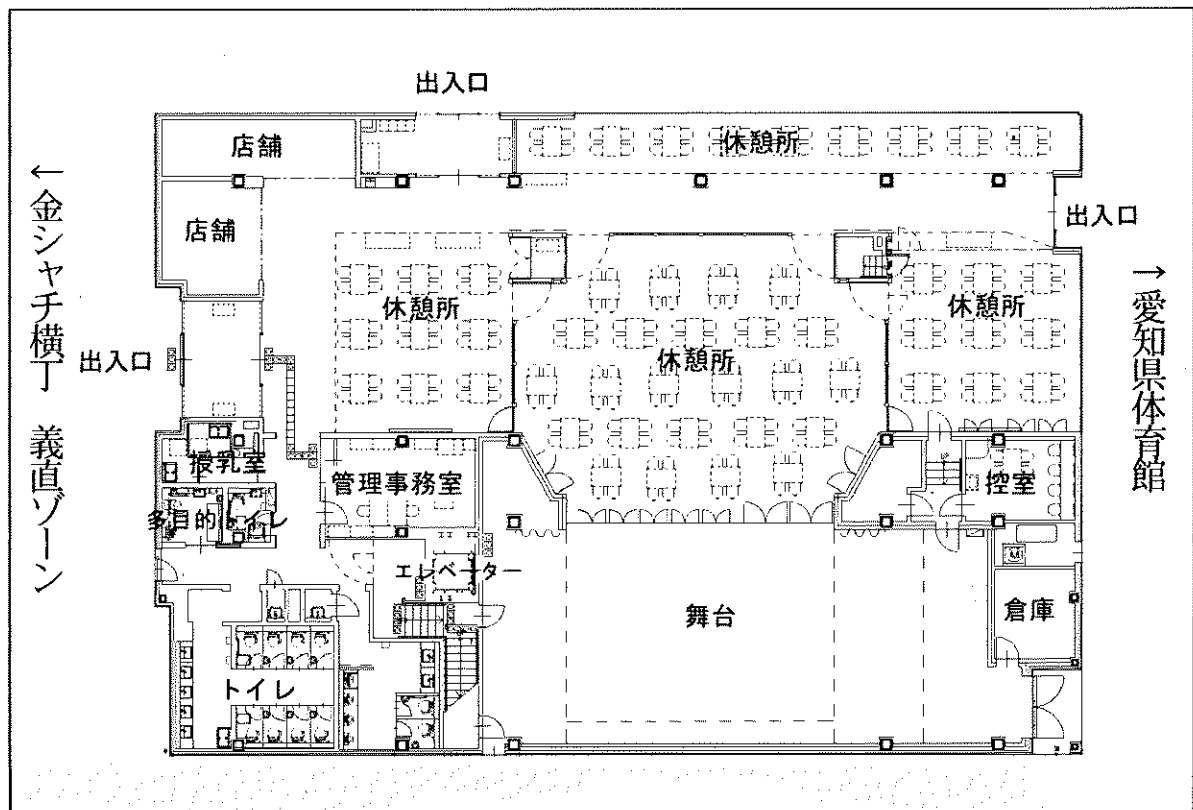
区 分	内 容
建物規模	鉄骨造2階建て、延べ面積1,250㎡程度
建物デザイン	木目調の格子を設置するなど芝居小屋をイメージ
席 数	・休憩所利用時：200席程度 ・演芸場利用時：130席程度
舞 台	・舞台面積：200㎡程度 ・設 備：舞台機構、照明設備、音響設備等
店 舗	軽飲食店、物販店舗等
共用部等	管理事務室、控室、エレベーター、トイレ、多目的トイレ、授乳室、倉庫等

(2) 外観イメージ

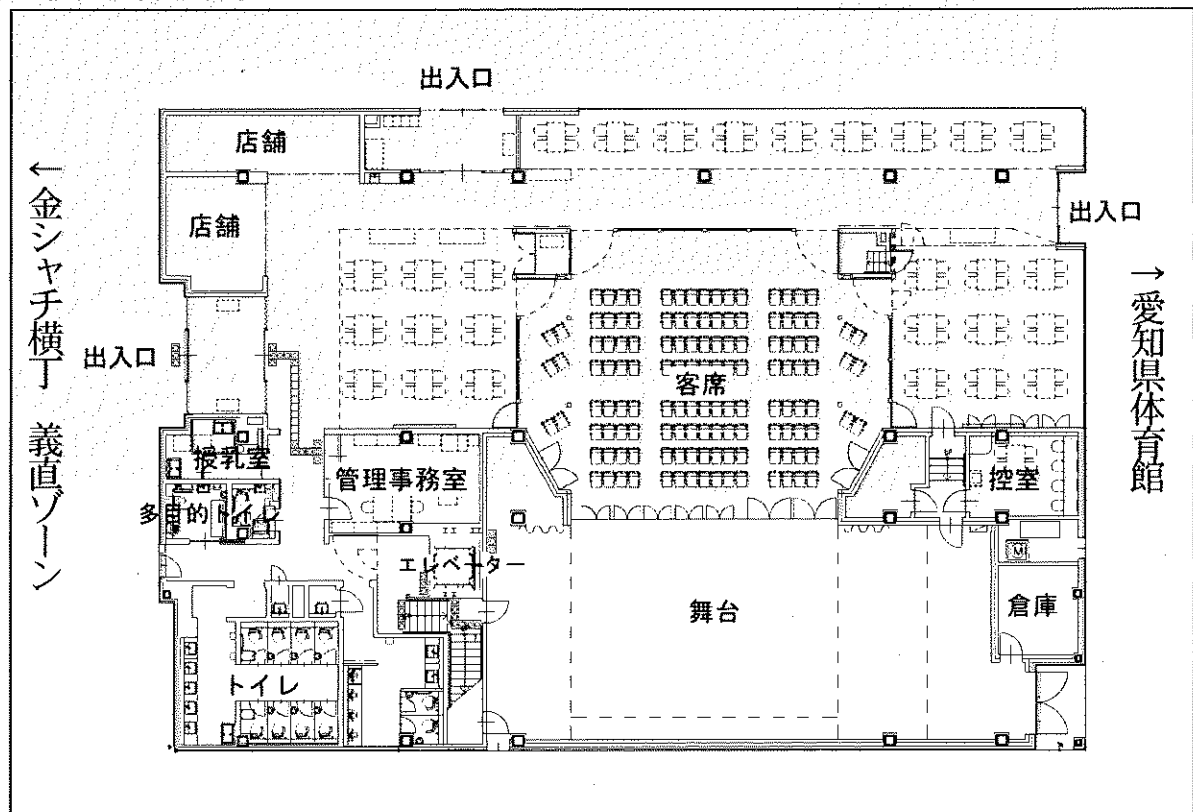


(3) 平面図

ア 休憩所利用時



イ 演芸場利用時



6 名古屋城天守閣特別会計における支出

(1) 令和5年度

(単位：千円)

区 分		505億円の 範囲内	うち木材の製材等	505億円の 範囲外
支出済額		125,396	99,985	250,104
財源内訳	一般会計 借入金	1,396	985	227,617
	市債	124,000	99,000	—
	その他	—	—	22,487

(2) 平成28年度から令和5年度までの累計

(単位：千円)

区 分		505億円の 範囲内	うち木材の製材等	505億円の 範囲外
支出済額		6,813,095	4,163,709	2,034,713
財源内訳	一般会計 借入金	342,280	2,539	1,303,011
	市債	5,973,000	3,756,000	—
	その他	497,815	405,170	731,702

7 「名古屋城バリアフリーに関する市民討論会」における差別事案発生以降の名古屋城木造天守復元事業に関する障害者団体等への対応に係る指示等

区 分	指示等を行った者	内 容	対 応
令和5年 6月5日頃	観光文化 交流局長	市民討論会で差別発言を受けた方に謝罪するため、アポイントを取るよう指示	局長含め4名で6月7日に謝罪するため訪問したが、直接謝罪することはできなかった
令和6年 3月12日	所管副市長	一部の障害者の方から所管副市長に、史跡とバリアフリーの勉強会をしたい旨の要望があり、職員の同席について相談	局として差別事案の検証を受けていることから、3月18日に、局長が所管副市長に対応できない旨をお伝えした